

市民が語る都留市の健康

XI

在宅介護している現場から

今回は、在宅で寝たきり老人を介護している介護者の皆さんより現場での生の声をお聞きしました。

☆寝たきり老人の現状

○ 夫は一日中寝たきりで、尿が出ないので管を尿道に入れたままになっています。週に一回膀胱洗浄をするため、器具の消毒や洗浄液を病院へ取りに行っています。また、入浴サービスを

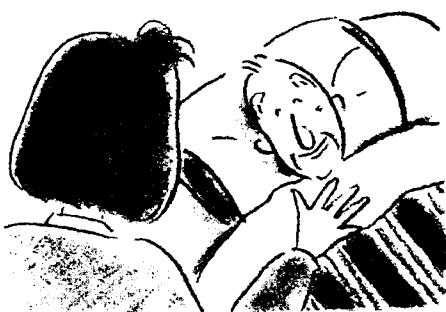
- 姉は寝たきりです。足の関節がかたくなっているため、オムツ交換で足を開く時は痛みがひどく私の手に爪を立てることもあります。腰には寝だご(褥創)が出てしまい、毎日あるいは尿で汚れた時は消毒をしてガゼを当てるといった处置を欠かせません。食欲が落ちると、股関節、肩甲骨、耳にも寝だしができ、ガーゼ箇所が増えることがあります。

○ 痴呆があつたため目が離せず少しの間でも看てくれる人がいない時は本当に困りました。

○ 妻が元気であつてのわしだから。夫婦2人で子供たちに助けられながらも、84歳になつても、自分でできるることは自分でできる。

○ 妻が元気であつてのわしだから。夫婦2人で子供たちに助けられながらも、84歳になつても、自分でできるることは自分でできる。

(車椅子生活をしている男性 84歳)



- 車椅子へと抱きかかえて移します。
- ヘルパーさんは休日は利用できることもあります。
- 結局友人にお願いします。
- 私も高齢、これから二人で年老いていくことがとても不安です。「いつまで介護できるだろう。できなくなったらどうしよう」と思うこともあります。

ねたきり老人数 90人

利用している在宅保健福祉サービス	
・入浴サービス	45人
・ヘルパー派遣	66人
・日常生活用具貸与事業	
ベッド	63人
エアーマット	27人
車椅子	42人
・保健婦による訪問指導	65人
・訪問看護婦による訪問看護	32人

(平成7年12月1日現在)

- 高カロリーの流動食を用意しても、なかなか飲んでくれません。脱水が心配で何度も病院
- 何よりも通院が大変です。車椅子から自動車へ、自動車から

市内にはまだ多くの悩みを持つ方が、日々介護に専念している方が、日々介護に専念していらっしゃいます。寝たきりになつても安心して暮らせる街づくりのため、市民の皆さんの方々が心配です。

- お風呂は病氣のため立つことができません。ベッドと車椅子の生活です。室内はずつて移動します。
- 出来ません。ベッドと車椅子の生活です。室内はずつて移動します。

○ 利用し部屋で寝たまま入れてもらっています。

- お風呂は病氣のため立つことができません。ベッドと車椅子の生活です。室内はずつて移動します。
- お風呂は病氣のため立つことができません。ベッドと車椅子の生活です。室内はずつて移動します。

- お風呂は病氣のため立つことができません。ベッドと車椅子の生活です。室内はずつて移動します。
- お風呂は病氣のため立つことができません。ベッドと車椅子の生活です。室内はずつて移動します。

問合先 保健環境課 健康管理係